

ハ乙女

成人

初咲きの梅一輪の清しかり

富田ミユキ



おめでとうございます

一日一〇〇〇分

南山見公民館長 高瀬 顕正

三十五年前にアメリカへ行って驚いた。日本人は短い足でセカセカ歩いているのに、アメリカ人は長い足でゆつたり歩き、エレベーターに乗っても、ドアの「閉」のボタンを誰も押さない。自動的にドアが閉まるのを待つ。スーパーのレジでお金を払うときも、合計金額が出てから財布を取り出し、小銭を数える。後ろに並んでいる人たちのものんびりと待っている。

日本のスーパーのレジで、こんなことをしていると大変だ。後ろで並んでいる人たちの冷たい視線を浴びることは確実である。もちろんエレベーターに乗るとすぐ「閉」のボタンを押す。日本人は一分一秒も待てないせっかちな国民である。

実は、私もせっかちな日本人である。セカセカと毎日を送っている。何とか直す方法はないものか。年が改まった新年に私はあることを思いついた。一日を時間ではなく、分で考えてはどうだろうか。一日は二十四時間だが、分になおすと一四四〇分。約七時間睡眠をとるとすれば、起きて活動している時間は一〇〇〇分。朝、起きてから、夜、寝るまでに、私は一〇〇〇分もの時間を持っているのだ。一〇〇〇分もあるのだから、スーパーのレジで少しくらい待たたっていいじゃないか。三〇分ぐらいゆつくりとコーヒー飲んだって、どうってことないな。車のスピードを抑えてゆつくり走ろうか等々……。

新年に入って、こんな考えで日々を過ごしている。今のところ、すこぶる調子がよい。せっかちな日本人を脱せそうな気がする。みなさんはいかがですか。

予年の新年を迎えて



今年のわたし

武田 真緒
(平成8年生)



私は四月に六年生になり、南見で最上級生になるのは6人しかいません。学校の登下校では班長になるので、下級生の安全に気をつけながら、元気に学校へ通いたいです。

今年、たくさんの本を読みたい。女の子が主人公のお話が好きなので、長編にも挑戦してみたいと思っています。

二十四歳の決意

林 靖子
(昭和59年生)



気付けば今年で二十四才になりました。何げなく過ぎてきた二十四年でしたが、振り返ってみるとたくさんの方に会い、色々な

地域のために

徳成 一彦
(昭和35年生)

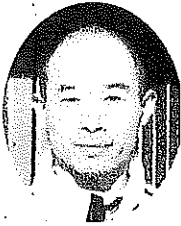


25歳で消防団に入り、22年がたちました。

その間数件の火事はありましたが、そんなに大きな災害もなく、南山見地区は本当に災害が少ない住みやすい所だと実感しております。しかし、昨年は隣県での大変大きい災害が発生し、たくさんの方々が被害が出ております。富山県も災害が無いとは言いがたい。改めて災害というのは必ずおきるんだと痛感しました。今後も気を緩めることなく、地域の防火防災のために少しでも役立てればと思っております。そして南山見地区が益々発展することを願っております。

感謝

箭原 知史
(昭和47年生)



いつのまにか、三度目の年男を迎えました。これまで大きな病気やケガもなく、妻と子供のおかげで、楽しく幸せな生活を送っています。

趣味のことも、仲間の協力があり、すごく充実していました。これからは、家族や周りの方々への感謝の心を忘れず、今まで以上に仕事に励み、平穩な日々を送りたいなと思います。

干支にちなんで

直江 留里
(昭和35年生)



八乙女山の麓に嫁いで早や二十年が過ぎま

した。当地に来て初めて井波風が吹き荒れた夜は、本当に怖くて一睡もできなかったのを覚えています。今は少し慣れましたが、二階で寝ていて強風でミシツミシツと家が揺れると、やはり落ち着きません。しかし風が強いことを除けば、とても自然豊かで静かで落ち着いた良い環境です。

一男一女の子にも恵まれ、これまで大過無く過ごせたのも、家族をほしめとして周囲の方々のご支援あつての賜物と感謝しております。

年齢的にも体力の衰えや健康面が気になる今日この頃ですが、干支の鼠にちなんで、身体をできるだけ動かすようにして健康に留意したいと思っています。

初春に思う

箭原 潤子
(昭和23年生)



あけましておめでとうございます。この古く

て新しい言葉を、何と60回、人生の秋の季節とも言います。春・夏の手当てが、これから実り、やがて来る冬の時代へ向けて歩いている今、人生いづも坂道に立つと言います。

還暦に思うこと

藤井 昭夫
(昭和23年生)



この世に生を受けて六十の歳月が過ぎま

した。いま振り返ってみると、曲がりなりにもなんとここまで生きてきたなあというのが実感です。小さい頃、我が家は貧しくて今は亡き両親が土方仕事をしながら一生懸命に私を育ててくれました。そのお陰で今の自分の生活があります。親には感謝しても感謝しきれない気持ちでいっぱいですが、生きている間に親孝行をしておくべきだったと後悔する日々です。

また、今の世の中を見てみると、いろんな便利な機器が溢れています。昔は、科学が発達すれば生活が楽になり、余裕ができて心身ともに豊かな暮らしができると思像して

いました。しかし、実際には便利な機器によって逆に慌ただしくなり人のこころを荒廃させているように思います。還暦を迎えたいま、これからは大自然の中で時の流れを体感しながら、ゆったりと生きていければと願っています。

感謝の気持を持って

前川百合子
(昭和23年生)



年が明けて六十才を迎え、還暦という節目に

あたり、今日まで健康で四十二年間の勤めを終えることに、家族や周りの方々に心から感謝の気持を伝えたいと思います。

めまぐるしく移り変わる世相の中で、若い人達のエネルギーをいただき、取り残されないように私なりに自己研鑽に努めて来たように思います。その中で、多くの人達との出会いと別れがありました。それは私にとつて、人生の糧となっており。これからは、ゆとりの時間の中、自分の好きなことにチャレンジして行きたいと考えています。また、日々感謝の気持を持ち続けて行きたいと思えます。

七巡目、子、年の想うこと

武田益夫
(昭和11年生)



あなたは何年生まれかと聞かれた時に、生

まれた年号で答えることもあれば、干支で言うこともしばしばである。この先輩前後の者は物心ついた幼年期は悲惨な戦争を体験しています。人や物を大切に大事に、親、師、友達、仲間を大事に敬愛することの教育を受け、身につけていると思えます。社会生活五十余年は物、心、共に激変の進化に翻弄され、繁忙の道のりで。お陰様で今日を迎え、振り返れば気の付くところが一杯です。多くの人から教えと鞭撻の重ねを頂き今があります。これからも健康であることを望み念じ、地域へささやかでも奉仕をして人々との「ふれあい」を大切に過ごして行きたいと思っています。

親と師の恩、五体満足今ありて孫見る瀬の喜びに謝す。

生涯かけての学習

川原彦市
(昭和11年生)



私はいつの間にか何回となく干支を重ねて

来ました。これも皆様の支えがあつたからと思ひ感謝しています。顧みますと、長い会社生活もありましたが、少量多品目という消費者ニーズに因應る為、何年たつても終点が見つからないと皆さんと話したことを思い出しています。また、退職後酪農に取組んでいます。安全安心をもとに仕事をしています。しかし何年たつても奥が深いですね。先生方とお茶を飲みながら話すことが多いです。そして、牛の新しい生命が誕生した時の感動は言葉に言いあらわせない喜びです。赤ちゃん牛が初乳をむさぼるように飲む姿、またお母さん牛が汗した体を潤すかのようにビールを美味しそうに飲んでいる時よかつたなど言つてなでやります。一年間に十数頭の分娩をさせるように努力しています。

今後は、飼養管理を怠らざ

に一頭一頭の管理を真剣に取り組み、生涯かけて美味しい牛乳の生産と良い農産物を作るための堆肥づくりに一層勉強していきたいと思ひます。

子年の回顧

高橋豊一
(大正13年生)



甲子園の開園の年に生まれましたが、

今年大改修されるそうです。自分も大改修……？昭和、平成と激動の時代を生き永らえたのも神仏のおかげと心から感謝致して居ります。

同級生も段々少なくなりました。「山麓会」三六名(男二十名、女十六名)も現在は、男六名、女十五名、何と女の方は男の倍以上健在です。男十四名の故人の内に尊い五名の戦死者の犠牲の上に今の平和と繁栄があるとあります。毎年三月に、生残り組で必ず元気で無事を確め合い家庭のこと、社会のこと、今でも走馬燈のように思い起されます。私事ですが一昨年母が一〇五才で大往生致しました。生前、朝な夕なに八乙女山の雄大な自然を拝んで居た母の姿が彷彿されます。

子年に思う

田村玉喜
(大正13年生)



新しい年を迎えて思うこと、気付けばもう

八回目の子年を迎えます。人ごとのように思っていた自分はずかしくなります。この八十年間何よりも思うことは、先ず健康にめぐまれた事に感謝すると共に、家族や友人にささえられて、今日まで暮してきました。

数年前より寺まわりが楽しくなってきました。としのせいでしようか。仏さまの前で手を合せると心がなごみます。また心が落ちつき。み仏を拝むしあわせを感じるひとときです。これからもみ仏とまわりの人々に感謝しながら残された人生をたのしく、大切に悔いのないように過していきたいと思ひます。

第30回
南山見地区

ハ乙女文化祭

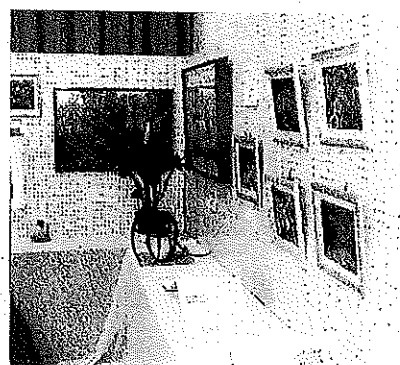
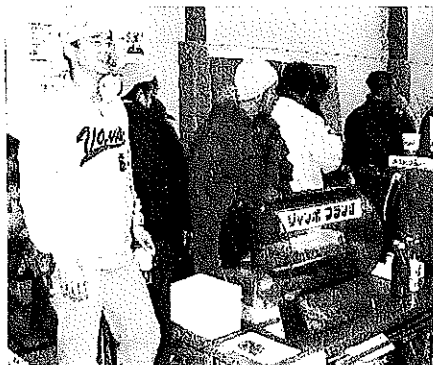
十一月十八日に文化活動の振興と地区住民の創造性を図り、コミュニティの場として記念すべき第三十回地区ハ乙女文化祭が開催されました。



は、可愛い園児から老人会の方々までの舞台発表と館内でのお茶席や喫茶、売店、バザーの出店とが一体感となり良かったと思います。作品展示も力作が多く、来場者も興味深く見入っていました。また農産物は三十三点の展示、即売会もあり、品評会では、立派な自然薯や白菜、大根等が優良表彰されました。そしてロックバンドの生ライブも大変盛り上がり、寒い一日でしたがとても有意義な楽しい文化祭となりました。

(篠原正三)

二日前に特設舞台や展示パネル等会場準備に各種団体役員方の協力により設営も完了しましたが、当日はあいにく大雨の降る天候となり、肌寒く急ぎよ館内で各種団体出店の模擬店コーナーを開くこととなりました。マレットゴルフ大会も中止となりましたが、体育館の特設ステージの上で



井波 花とみどりの少年団・児童クラブ



花だん づくりと クリスマス会



十二月十六日に、児童クラブ、花とみどりの少年団で花壇づくり、クリスマス会を行いました。十二月に入っても暖かい日が続いていましたが、前日から冬の寒い日となり、雪が降るのではないかと思う程でした。当日は寒かったも

寒かったも



の、花壇作りの時は雨も止み、全員で外で作業することが出来ました。花と緑の銀行の方々の協力もあり、作業もスムーズに進みました。春には、きっときれいな花が咲くことでしょう。

クリスマス会は、一人一人がクリスマスツリーにオーナメントを飾ることから始まりました。最後は、とても素敵な(?)ツリーが出来上がりました。その後、公民館副館長、篠原さんの面白い手品をお楽しみしました。ビンゴ大会では、ビンゴになった児童がプレゼントをもらい大喜びしていました。とても楽しいクリスマス会でした。

(母親クラブ 横江恭子)



新年の集い

平成二十年南山見地区「新年の集い」が、一月四日午後二時から、大勢の地区民が相集い盛会に行われました。

来賓には今年も綿貫代議士、清都南砺市副市長、山本綿貫後援会長、才川市議をお招きし、自治振興会長の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。綿貫代議士は勢力的に各テーブルを回られ、多才な話題で参加地区民と親しく歓談されました。今年も公民館行事を通して地区の皆様が健康で充実した一年を過ごせますよう努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(山本孝夫)



楽しく3B体操を行なつて

婦人会



メタボリックが流行語になっている今日、婦人会はヤングレディスセミナー事業の一環として、日頃の運動不足を解消しようとして、3B体操を開催しました。

3B体操とは、ボール・ベル・ベルダーの3種類の道具を使って音楽に合わせて、楽しく体を動かす健康体操です。いつも聞きなれている歌謡曲に合わせて、先生のふりを見ながら運動します。20人余りがホールいっぱい広がり、1・2・3と気持ちの良いテンポです。先生のあつた運動不足の私達、先生のとにについていくのに大変です。3・4分が大変長く感じられ

第9回南山見地区 スーパーキックベースボール大会

10月22日～24日まで恒例のスーパーキックベースボール大会が町内対抗で開催されました。家族の応援、町内のみなさんの応援もあり、楽しい大会となりました。

成績は次の通りです。

- 1位 院瀬見第四
- 2位 院瀬見第二 (事務局)



受賞おめでとうございます

平成十九年十一月二十四日、二十五日に金沢市において、第五十一回現代学生競書大会が開催されました。少年研修館書道教室も参加致しました。成績は次のとおりです。

- | | | | |
|----|------|-----|--------|
| 銅賞 | 書学会賞 | 四年生 | 篠原風斗さん |
| | 金賞 | 二年生 | 山田太一さん |
| | | 二年生 | 前川翔さん |
| | | 三年生 | 前田真唯さん |
| | | 一年生 | 山田理人さん |



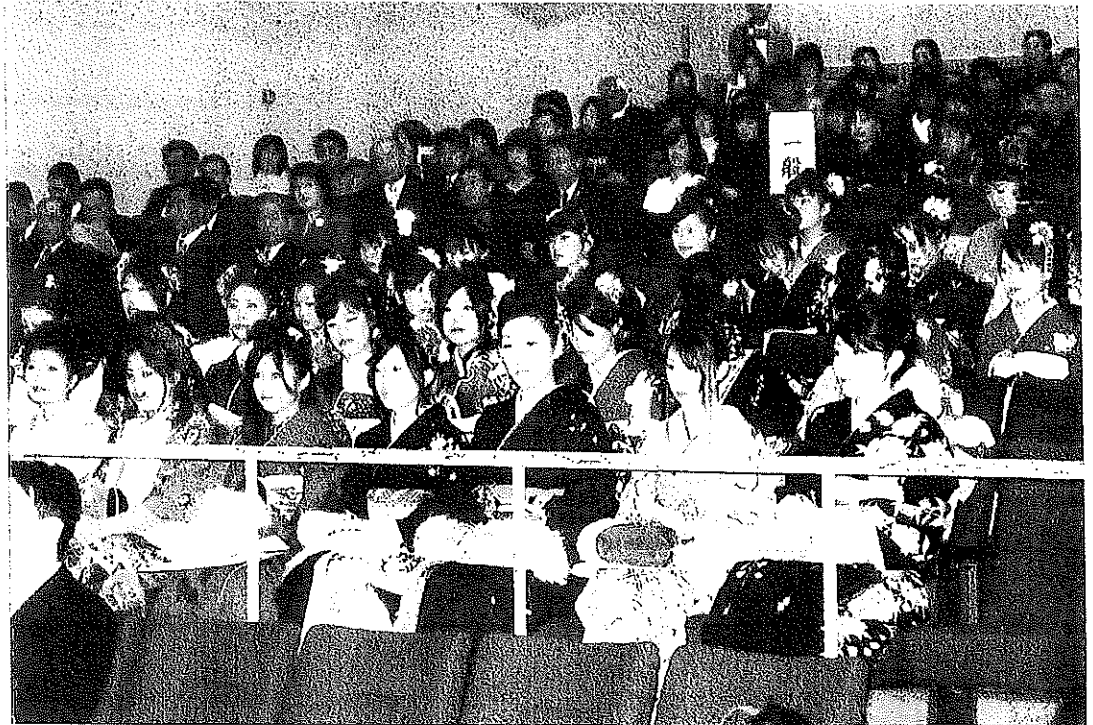
ます。初めは笑顔でスタートしたのですが、しばらくするとハーハーと息遣いが荒くなりました。約1時間、次々と道具を交

えながら運動しましたが、終わったあとは、「あー気持ち良かった!!」毎日少しずつでも運動ができたらと大いに反省した一日でした。



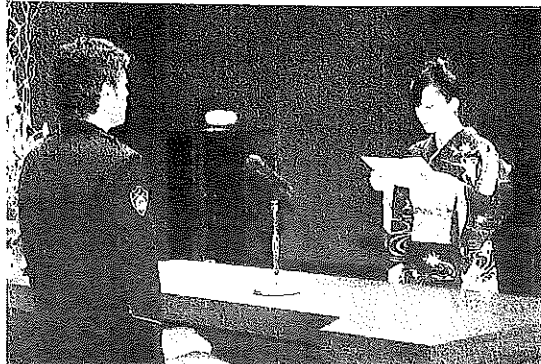
新成人のみなさん

- 院瀬見一区 山田 崇元
- 院瀬見三区 武田 昇吾
- 院瀬見四区 山本 理恵
- 連代寺 山本真梨恵
- 志観寺 池田有里
- 戸板 舟元仁紀
- 戸板 藤井千春
- 今里 岩田幸菜
- 五領 松井由香子
- 川原崎 山崎光晋
- 沖 徳成香奈
- 沖 山口泰幸



成人をお迎えのみなさん
おめでとございます

井波地域成人式は、一月十三日(日)井波総合文化センターにおいて開催されました。ご来賓や家族にも来場いただき、また、天候にも恵まれて、すばらしい成人式でした。当地区の松井由香子さんの力強い交通安全宣言で式は締めくくられ、その後は、成人のみなさんの企画で小学校、中学校の恩師の先生方にも参加していただき、「成人者の



集い」が始まりました。学校の思い出がスクリーンに映されると、歓声が上がります。それぞれの想いがあつたようです。先生方よりお祝いのお言葉をいただき、心に残る成人式でした。今年も、公民館より「マナー辞典」をお贈りいたしました。(事務局)

定 命 事 行

2月6日(水) 午後7時30分より
平成19年度「公民講座」
講師 南砺市民病院 院長 南 眞司先生

2月24日(日) 午前9時より
第19回南山見地区
三世代交流の集い

ご寄附
一、金 参万円也
(備品費として)
南山見婦人会様
ありがとうございました

南山見人口

男	582人
女	605人
計	1,187人

平成19年12月31日現在

前日の晴天が嘘のような雪模様。一面の銀世界に幼かった頃を思い出します。あの頃はジャンパーというものがなく、うだわらを着て雪道を歩いたものです。手袋をした手に息を吐きかけ吐きかけ。あの時のびいーんとした空気がなつかしいです。

さて、いろいろな会合に出ていますと、「南山見地区は公民館活動がさかんですね」と言われます。公民館を拠点に地域のみなさんがつながり、子ども達やお年寄りの方々を大切に活動が生き活きと行われているからでしょう。本年も、世代や環境に合った楽しく無理のない活動で、人の輪が広がっていく事を願っています。(雪だるま)

